

あけまして おめでとう ございます

たくさんの雪と共に 新しい年を迎えました。

子どもたちや 元気な大人たちは 雪あそびを たのしんだことでしょう。

街の中には 雪だるま(オラフもよく目にしました)や、かまくらが たくさん見られましたね。

春 卒園の頃に 花開く もくれんが、たくさんの つばみの中で 早々と 大きな雪の花を 咲かせていました。

不思議なことに「うぐいす」が何羽も やってきたのですから、ほんとうに そんな 感じだったのです。

今年一年、実際たくさんの課題や困難が待っていることですが、それらの中に私たちを生かしてくれるチャンスを見い出しながら、納得のいく道を見つけ出し、私たち一人ひとりが新しい、それぞれのとして生きられたらいいなと思います。

元日から たくさんの年賀状が 幼稚園に届きます。

在園の子どもたちの あらためての様子を伝えていただくのは、とてもたのしいことです。

毎年お便りを下さる卒園生も、久しぶりに 近況をお知らせ下さることもあります。

一人ひとりの顔が 浮かんできます。

その一人ひとりの 世界に対する思いめぐらしの作業が 未来のあるべき社会をつかっていくことでしょう。

一人ひとりの手の働きから、誰かのよろこびが、社会で役立つものが 生まれてくることでしょう!

一枚の卒園生(3年生の女の子)の年賀状を紹介させていただきます。

明けまして おめでとう ございます

私は自分の心の中には
元気な神様がいると思います

宇宙は 誰が 作ったのですか

卒園のころ、「かみさまは どこにいるの」という質問をもらい、「どこにいるんだろうね、かみさまにたずねてこたえがとどいたら おつたえするね」とやりとりして以来、「もうかみさまから へんじきた?」...と途中経過があり、自分の中で その答えを見つけ 教えてくれたのでした。



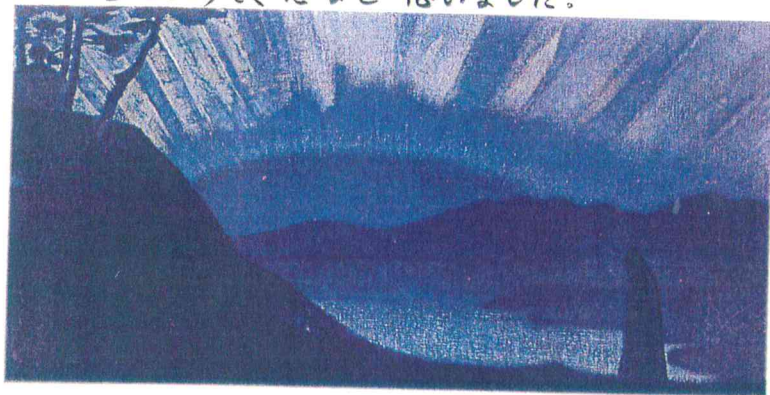
年賀状のお返しと共に 別に返事を書くことにしました。
どう伝えたらいいのかわかりませんが、とにかく精いっぱい
書いて届けることにしました。

～ ちゃんへ

新しい年を うれしく むかえたことでしょう！
学校がまた 始まりましたね。

世界は “ふしぎ” で あふれています。
その “ふしぎ” たちが たくさん あることで、私たちは
わくわくしながら 生きることができるのでしょう。
“ふしぎ” をきっかけにして、私たちは 世界の中を生きる
ものや そこそこにあるものたちと 出会い、世界がどうい
う意味をもっているのか 確かめることができるでしょう。
そして そのようなことをしながら、「私」がどうしてこの世に
生まれ、なぜ生きているのか …… を 何より考えることが
できるのかもしれないね。

さて 「神様」のことですが、私も自分の内側に神様が
生きているのだと 感じています。どこか空の高いところに
いるのではなく、一人ひとりの心の中にいて、心の中で
つぶやく声を受けとめてくれたり、誰かのために何かを
いっしょけんめいしてるのを はげましたり 見守ってくれたりして
いるような気がするのです。
～ ちゃんの 「元気な神様 が心の中にいる」というのは
とても すてきだなと 思いました。



次に「宇宙は誰が作ったのか」というなぞ
ですが …… とても むずかしい問題ですよね。

まったく別のようことに思えますが、この「宇宙は誰が
作ったのか」という問は、私には「私はどうして生きて
いるのか」という問題とにているような気がします。

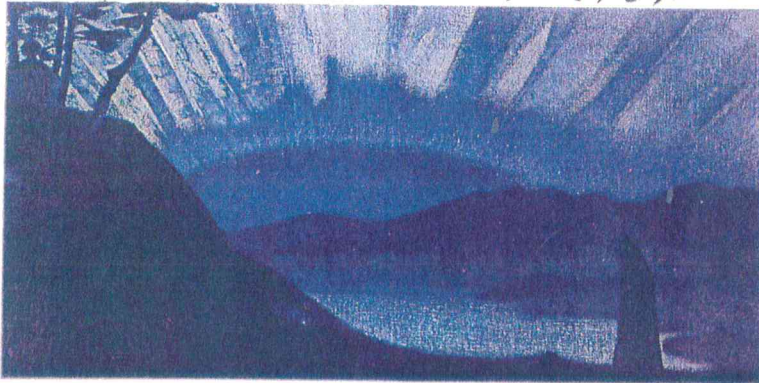
～ちゃんも たまたま生まれたから、たまたま生きている
のではなく、生まれてきたことに今よろこびを感じ 未来に
向かって ゆめをもったり 目ひよをもったりして すごして
いますよね。

それなら、生まれてきたときのことを今おぼえていないとしても、
たまたま生まれてきたのではなく、自分で「この世を生きようとして
生まれてきた」といっていいのではないのでしょうか。

宇宙も、一人ひとりが かけがえのないそれぞれの意味を
もって 自ら生まれようとして生まれてきたように、特別な意味を
内がわにもち 何かねがいを もって あらわれてきたのかもし
れませんね。

本当のことはよくわかりませんが、世界に ぶしぎを感じて
そのわけをさがしている人がいるところ、そこが宇宙なの
でしょう。世界のなぞを見つけ さがしもとめる ～ちゃんが
ますます かがやくと、宇宙も いきいきすることでしょう。

～ちゃんのさがしとめのころがますます くらみますます ように！



2015.1.6 升光泰雄

これから、3月の卒園・進級に向けて 様々なことから 待ち受けています。
目に見える生活は 年長の子は あと三ヶ月の生活となりますが、その期間だけで
その意味を 押し量ることはできない と思っています。

幼児として生きる時代が 人生全体の中でとらえられないと その意味が
見えてこないように… 今生というものが この世の価値で 眺めるだけでは ほんとうの
ことが 開示されないように… です。

さあ大切な時間がまた 始まりました！
みなさん 今年も よろしくお願ひします。

園長 升光泰雄